

私たちはボランティア精神のもと
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

会報/市民後見人の会 No. 164

2021年7月25日発行 通巻No.174号

創刊2007年2月26日

発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井 1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL : 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～15時の間対応します。)

TEL&FAX : 03-6303-8265

◆情報交換会◆

後見部会主催による後見担当者同士の情報交換会が次のとおり開催されました。

日 時 : 7月17日(土) 13:30～16:30

場 所 : 品川第一地域センター

参加者 : 23名

最初に斉藤裕二後見部会長の「コロナ禍により活動のやりがい低下する恐れがあります。今はとても難しい状況です。また新たに受任する案件では困難な問題を抱えている場合があります。NPO法人としてサポートする必要があります。困難な時代ですがみんなで力を合わせて頑張ってください」という挨拶があり、朝倉鈴子理事の司会・進行で開始されました。現在進行中の17件の案件について各担当者による現状報告が行われました。多くが困難事例で担当者の苦労等が発表されましたが、その内の2つを記します。

○ 被後見人が「火災を起こす」「交通事故に遭う」等々の危険な状況を起こす恐れがある場合は、そのような恐れを避けるために後見人としてどういう対応を取っていたかを記録に取っておくことが大事。

○ 活動が上手く行かない場合は何を基準にするか。自分なりの基準を持っていることが大事。



◆それは1本の電話から始まった◆

正担当 渡橋理恵

本会が51番目に受任したAさん（88歳、女性、自宅（高齢者住宅））の担当として初めて後見活動を行うこととなった。品川区と監督人とのカンファレンスは済んだが、ご本人との顔合わせはまだ終わっていない1月14日、区の担当者から「Aさんが外で転んで救急搬送中だが対応してもらえますか」という電話が。続いてケアマネより「入院はできなかったのでショートステイを利用したい。ついては手続きのため施設に来てほしい」との連絡。副担当の澤谷さんと急ぎ施設に向かう。Aさんと初対面の挨拶もそこそこに利用契約について説明を受ける。ほっとして帰路についたバスの中、また電話が鳴り施設に逆戻り。38.5度の発熱のため受け入れ不可となり自宅で様子を見ることになった。翌日、往診医の手配により、再度救急車で入院を試みるもやはり発熱で不可。コロナ禍の厳しさである。この日から自宅での療養のためにケアマネと、○介護ベッドを入れる○ヘルパーの手配○デイサービス○ショートステイの利用○リハビリ開始○配食サービスの利用、など様々な介護サービスの利用を考えていくことになる。私も後見活動を行う中で最初のハードルにぶつかった。発熱中のAさんに会いに行ったことで私の家族からクレームが出たのである。当然である。「緊急事態宣言下、コロナに罹患しないように細心の注意を払って生活しているのに家族のことをどう考えて活動しているの？」と詰問された。どうしたら良かったのだろう。在宅の場合の活動について難しい局面である。

その後もAさんは車椅子で一人で出かけて警察から連絡がきたり、足の腫れからくる発熱を繰り返し、その対応に追われ、毎日のように電話がなるので正直気が休まらない時もあった。しかし、顔を合わせれば「会いたかったのよ」「来てくれて嬉しいわ」という言葉もある。つくづく後見人の仕事について考えさせられる毎日であった。成年後見人は事実行為はしなくて良い、とわかっているもそうはいかない現実があった。

5月7日、ケアマネより特養入所の順番が回ってきたとの連絡。返事は早くしないといけない。これまでコロナ禍でゆっくり時間をとって話すことができていないが、それでも短い会話の中で在宅で過ごしたいという希望も耳にしている。しかし自立が前提の高齢者住宅で過ごすのが難しくなっているのが実態である。本人の意思を確認して19日、施設の担当者と面談した。驚いたことに「一人では何もできない。誰かの助けをかりて生活している」とはっきり入所の意思を表すことができた。入所は26日に決まった。すごいスピードである。ここで私はまた悩んだ。こんなに早く決めてしまっていいのか？ 本人の気持ちに寄り添っているか？ それに入所にあたって、終末期の意向の確認やみとりについての話もしないといけない。限られた時間のなかで可能だろうか？ もうぶっつけ本番でいくしかなかった。不安からか荷物が無くなったと110番したり、お金が無くなったと訴えたり、入所の朝まで、引っ越しは不安と訴えていたAさんを施設に残して帰るのはとても心配であった。しかし、それは全くの杞憂であった。Aさんは施設で過ごすほんの1週間ほどで明るくお元気になり顔色も良くなったではないか。そして2か月近くが過ぎ、発熱もなく友人もでき新しい生活になじんでいくAさんを見守る後見活動が始まったのである。

最後になりましたが、さんざん迷い悩んでいる私にいつも灯をともしてくれる副担当の澤谷さん、話を聞いてたくさんアドバイスを下さった後見活動の先輩方、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

◆「月曜カフェ」の充実◆

アンケート調査結果

調査へのご協力ありがとうございました。

調査内容についてご質問等あればご連絡ください。

事務局：馬庭俊一郎 大岡朋子

- 1 期間：2021年5月6日～31日
- 2 回答数：50名（58.1% 会員数86名）
内訳：性別 ①男性 20名 ②女性 27名 ③無回答 3名
年代別 ①40代 1名 ②50代 9名 ③60代 15名 ④70代以上 24名
⑤無回答 1名
- 3 月曜カフェにこれまで参加したことがありますか。
①大体参加している。 5名 ②時々参加している。 31名 ③参加したことが無い。 13名
④無回答 1名
- 4 参加した理由（複数回答あり）
①テーマに興味があった。 35名 ②他の会員に誘われた。 1名
③会員と会って話をしたかった。 9名 ④その他 2名
- 5 参加してどう思いましたか。
①大変参考になった。 30名 ②少しは参考になった。 4名 ③参考にならなかった。 0名
④その他 2名
- 6 これまで参加した中でどのテーマが面白かったか。（複数回答）（第1回から第28回まで）
①1 ⑥5 ⑦1 ⑧2 ⑨2 ⑩1 ⑪1 ⑫2 ⑬1 ⑭10 ⑮1 ⑯4 ⑰3 ⑱6 ⑲5 ⑳3
㉑1 ㉒9 ㉓2 ㉔3 ㉕4
- 7 参加しなかった理由は。（複数回答）
①興味のあるテーマがなかった 0名 ②仕事のため平日は参加出来ない 8名
③日程が合わなかった。 11名 ④興味がない 0名 ⑤その他 2名（体調、定員超）
- 8 開催日時、時間帯について（希望する曜日、時間帯）
①第4月曜日 10時～12時 17名 ②同 13時～17時 10名 ③同 18時～20時 17名
④その他 6名（土曜午前 1名 同午後 2名 土日 1名 固定しない 2名）
- 9 今後どのようなテーマを取り上げて欲しいですか。（複数回答）
①成年後見制度に関すること 21名 ②介護施設について 21名
③後見活動体験談 23名 ④地域社会の暮らしについて 17名
⑤その他 6名（介護サービス、任意後見、社会福祉、家族信託、エンディングノート、
地域で各自が行っているボランティア活動の紹介）

10 スピーカーの募集

応募いただいた方にはテーマ、日程についてご相談させていただきます。

11 月カフェ及び会や事務局への要望他

- ①会員交流の機会や後見の勉強会の時間を多くとって欲しい。
- ②大変な世の中になり弱者に歪みがきている。皆様の活動が大切。
- ③地域活動について知りたい。
- ④参加したことなかったが介護から解放され時間的に余裕が出来たので参加したい。
- ⑤カフェは会員の後見活動の向上だと思うがテーマによっては会の存在を知ってもらえる意味も含めて区民にも開放しては如何か。
- ⑥専門家の話は興味深いが会員の話は後見活動の参考にならなかった。
- ⑦オンライン、動画配信を活用して欲しい。
- ⑧カフェは会員の交流に役立っていると思うが後見についてよりは社会福祉、地域福祉全般への理解を深めると言う視点に立って行って欲しい。
- ⑨精度の高いコピー機が欲しい。
- ⑩完璧な終末期を迎えた方の具体的な事例を知りたい。
- ⑪カフェに参加したことないがオンライン開催があれば参加したい
- ⑫市民後見人の会の活動に貢献出来るよう頑張りたい
- ⑬養成講座が実施できず会の存在を PR する機会がなくなった。
- ⑭地域住民との会話、相談、触れあいが必要ではないか。区の地域センターにある「支援・ほっとステーション」と連携して地域に溶け込んで行けないか。
- ⑮後見部会の勉強会とのバッティングもあるので周辺情報の知識の修得と言う観点での取組みとして欲しい。
- ⑯進行役の話す時間が長く参加者の話す時間が短い。
- ⑰組織が大きくなると会員同士の連帯感が薄くなってしまいがコロナ収束後には地域ごとの集まりを大切に困り事に対応、対処出来るとういと思う。
- ⑱コロナ下で会員間の交流が減ってきている。特に近年入ってきた新会員の皆さんが折角入会したがただ登録しているだけだ、と感じているならそれは避けなければいけない。会報等を通じてそういう方たちに発信して行かなければならないと思う。



◆2021 年度 6 月度理事会報告◆

- 1 開催日時 2021 年 6 月 21 日（月）15 時 30 分～17 時 00 分
- 2 開催場所 品川区社会福祉協議会ボランティア室（1003 号室）
- 3 出席理事 朝倉鈴子、内山恵子、大金修、金城清、古賀忠壹、斉藤裕二、杉谷徹夫、
高原三平、馬庭俊一郎各理事
- 4 欠席理事 杉山麻里子理事
- 5 オブザーバー 國枝園子、小松統各監事（敬称略）
- 6 議事

<審議事項>

- ① 後見正副担当者選任（52 号）及び正担当者交代（16 号）について決議した。
（交代日は 2021 年 7 月 1 日とする）

<協議事項>

- ① 剰余金の使途、本年度予算管理について協議した。（時間切れで継続協議）
- ② パソコンの保守管理等について
パソコン 2 台についての保守サポート管理について協議し、専門業者に依頼することとした。

<報告・連絡事項>

- ① コロナ対策について以下の報告があった。（古賀）
政府は、6 月 20 日「緊急事態宣言」を解除したが、東京など 7 都道府県では「まん延防止等重点措置」が、7 月 11 日まで適用される。そのような状況下、本会は、昨年 12 月 21 日通知した新型コロナ対策を継続することとした。
- ② 2021 年度社協支援員の推薦者は 17 名とする旨の報告があった。（高原）
- ③ 2021 年度通常総会（6 月 12 日開催）の報告があった。（高原）
- ④ 退会者（5 月度）が 1 名あった旨報告があった（退会日：2021 年 5 月 31）。現会員数は 86 名。（古賀）
- ⑤ 「成魂の碑」合同納骨（7 月 12 日実施）について連絡があった。（高原）
- ⑥ 月曜カフェアンケート結果について報告があった。（高原・馬庭）
- ⑦ 会報 6 月号について目次の報告があった。（金城）
- ⑧ 2021 年下期中長期日程の連絡があった。（高原）
- ⑨ 「いきがい・助け合いサミットイン神奈川」（さわやか福祉財団主催）への参加者依頼があった。（高原）
- ⑩ その他
・会費及び後見報酬の振込口座は、ゆうちょ銀行に変更する。変更先は以下の通り（従来はみずほ銀行荏原支店）。

○ゆうちょ銀行以外の金融機関から振り込む場合

【記号】 0一八 (読み ゼロイチハチ) 【店番】 018

【預金種目】 普通預金 【講座番号】 1625500

○ゆうちょ銀行から振り込む場合

【記号】 10140 【番号】 16255001

【なまえ】 トクヒ) シミンコウケンニンノカイ

<今後の予定>

- ・6月23日(水) 東京都へNPO 法人活動報告書郵送
- ・7月12日(月) 監督人・後見人等連絡会
- ・7月12日(月) 「成魂の碑」 合同納骨
- ・7月17日(土) 情報交換会
- ・7月26日(月) 月曜カフェ

(記 高原三平)

◆寄付金◆

次の会員の方から寄付を頂きました。有難うございました。

中村紀子 14,000 円

(敬称略)

様々な批判、問題が指摘される中、東京五輪が開幕しました。1964年の東京五輪柔道の試合で無差別級決勝でのアントン・ヘーシンク(オランダ)と神永昭夫との試合が印象に残っています。

柔道と言えば「人生100年倶楽部・転倒防止に柔道生かす」という記事がありました(毎日新聞: 2021・5・24)。高齢者はちょっとしたことで転倒する危険性が高く、重大な事故につながりやすく、そこから寝たきりになってしまうこともあります。以下、記事を引用・抜粋します。

「神奈川県茅ヶ崎市では、日本マスターズ柔道協会のメンバーが中心になり、『中高齢者のための転倒防止(頭を打たない)勉強会』に取り組んでいる。この勉強会では、転んでも重大なケガにならないように、柔道の受け身の技術を応用した身のこなし方を習得してもらえるよう指導している。日本マスターズ柔道協会代表理事の内藤光伸さん(77)は『茅ヶ崎で始まったこの取り組みを、みんなが理解できる形で全国に広げていきたい』と話す。武道家や元アスリートたちによる様々な動きがあるようです。

暑い日が続いています。コロナ、熱中症等にくれぐれもご注意ください。

(編集 金城 清)